

磐城時報

日刊 四月十日
編輯 石城新聞社
印刷 石城新聞社
發行所 石城新聞社
電話 一四七
郵便 一四七
代金 一四七
定額 一四七
日刊(日曜、祭日)休刊

耕地協会の決議と

石城の鮫川水利事業

有利に展開の曙光

大会に出席した古川傳一氏談

植田町元縣議員古川傳一氏は去る四日から六日まで東京赤坂三會堂に開かれた帝國耕地協會主催の全國耕地事業臨時大會に石城郡の大問題である鮫川堰普通水利組合の利害を代表して出席したが、鮫川水利事業は縣に於て一日も早く實現せねばならぬと歴代知事が懸命の努力を拂つてゐる有意義事業であるため特に古川傳一氏に依頼し出席せしめて實現に對する運動をなしたものである、當日の決議案は

此金壹千三百貳拾五萬圓計上一反歩當十三圓二十五錢(五ヶ年度分)
一ヶ年度支出額金貳百六拾五萬圓
三ヶ年度排水主要工事國營に對しては已に設計完了せるもの多數あり其の内少なくとも二萬町歩の豫算を計上すること
此金三千萬圓 一反歩當金五百十圓(五ヶ年度分)
一ヶ年度支出額金六百萬圓也

決 議

昭和七年度に於て萬難を排し追加豫算として左記事項を實施し眞摯熱烈なる民望に副はれんことを庶幾ふ

(一)開墾助成の數年來推積せる既出願未指令地區に對し直ちに全部に指令を與へ且つ新出願に對し遲滞なく指令を與ふる爲め少なくとも三萬町歩の豫算を計上する事
此金貳千五百萬圓計上 一反歩當金七十圓也(五ヶ年度分)
一ヶ年度支出額金四百廿萬圓
(二)用排水幹線改良事業に就ては逐年集積せる出願に對し少なくとも十萬町歩の豫算を計上する事

其他
四、暗渠排水事業の國庫補助
五、開墾地移住獎勵
右につき古川傳一氏は語る
「決議案は来る五月開會の臨時會議に提案せらるべき追加更正豫算に是非とも計上せられんことを望む爲め大會は右案件を即時可決し直ちに委員を擧げて省議中の農林大臣を訪問した、農林大臣は其の陳情の内容に尤も慎重なる態度を以て右決議中鮫川水利事業に最も關係のあるのは第二の排水幹線改良事業に對する豫算であるが、かうした決議が實施される場合鮫川水利事業の實現も頗る有利に展開する事は言を俟たない。」云々

あす磐中校庭で 平管内消防檢閲

優良組員と組頭表彰 四千余名花の平町に集ふ

平警察署管内四町十八ヶ町村の中里警察部長の訓示、來賓の祝辭、受賞者總代の答辭等あり分れる等、當日は早朝警備を打つて組員を召集し午前八時までに定である、表彰される者左の如くである。
▲平 消防手小菅榮之助、門馬淺次郎、猪狩次郎吉、渡邊三郎、猪狩廣治、小河原壽雄、永澤義一
▲内郷 伍長三部建吉、消防手草野利久、宮本政治、大竹金次、草野泰一、生田春美、齋藤武美
▲湯本 伍長本田強、同坂本清

同大平政雄、消防手日下部操、大平芳太郎、佐藤準一、立花久、警備 小島時田省三、同長久保勝榮、伍長北郷三男、同齋藤廣治、同酒井芳夫、消防手吉田信治、金成祐安、井上貞造、廣藤保
▲丸川 小頭小松泰三、伍長西丸衛、同丹野茂太、消防手竹原太津彌、新崎光雄
▲鹿島 小頭藤沼忠美、同永井長治、消防手江尻稔、小松源一、橋本啓太郎
▲小名濱 伍長小野實吉、同井成軍藏、同佐川喜四郎、大井川宏、鷲幸江、消防手馬上一、中山瀧雄、吉田公安
▲江名 伍長吉原德藏、吉田熊藏、消防手鈴木義雄、坂本國治、坂本春治、津島正雄、作山得雄、作山長吉、馬目輝英、加瀬正、吉田三五郎
▲豊間 伍長大塚友彌、政井富雄、消防手遠藤清助、四家悦之助、鈴木春吉、山野邊朝治、吹文郎、猪狩武男、消防手矢高久、小頭本馬武、消防手矢松、室谷茂、鈴木半作
▲夏井 消防手松本峯雄、渡邊徳至、小泉保、鈴木武夫、坂本茂長、鈴木正義、坂本義一、神谷 小頭鈴木房藏、消防手志賀重義、渡邊清房、消防手松崎幸太郎、片寄直政、佐川龜次郎、會川壽松、酒井義輝、飯野 消防手山野邊林藏、植要太郎、江尻政義、志賀典忠、草野利吉、鈴木竹男、小泉徳衛、平窪 小頭鈴木盛信、薄葉庄憲、伍長西山助治、國府田忠男、消防手吉田甚一、小頭鈴木勇、消防手佐々木昇義、矢内初太郎
▲上小川 消防手草野豊重、佐藤定元、柳内松良
▲下小川 消防手白石示、箱崎善之助、茂木庄五郎、吉田美實、吉田彌太郎
▲赤井 小頭小野三與登、消防手鈴木外幾雄、川井保一、佐藤甚平、大平政義、矢口龍治郎、好間 伍長猪狩芳江、中山榮消防手鈴木孝一、結城八十八齋藤好一、鈴木喜久彌、萩野喜司、鈴木好雄
▲永吉 伍長阿部市三郎、消防手吉田誠一郎、青木久七郎

自動車總會の客を 全部新舞子に案内

地元協會で協賛準備

福島縣自動車協會の第四回總會に於て懇親の宴を張り平美妓學校に開かれるが、當日は濱通には舟を浮べて新舞子に案内し、の關係を除き中通り會津方四會町に於て解散する筈である、面から三百余名が來する事に於て、歓迎の方法としては、九時から平町事務所を開き昭和七年度事業計劃について打合せをなした。

磐崎村全村民が 愛國機建造金献金

愛國機建造金献金

磐崎村では十三日午後一時から宣傳の活動寫眞會を開催する筈、同村役場で愛國機編隊建造寄附金募集につき區長會を開き協賛の結果各戸平均三十五錢宛の献金をなす事になった。

産業組合の 宣傳映畫會

縣下産業組合大會は十七日平町町十四煉炭製造吉商店事大木友美(三五)方から十三日午後八

滿洲國の 役人募集

平警察署では其筋の通牒により滿洲國に於いて任官する高等官その他を募集するが、資格は年齢三十五歳位までの者で俸給は左の如くである。希望者は警察部警務課宛申込みせしむ。高等官 年一六五〇圓—四〇〇〇圓 判任官 月七〇圓—一四八圓 同待遇 月五〇圓—一三〇圓

凱旋祝賀會

佐川、芳賀二君

磐崎村出身滿洲出兵佐川太平、芳賀嘉七の兩君は此程凱旋したので同村では近々盛大な凱旋祝賀會を開く。

分福茶釜 展覽會開催

上州館林茂林寺の有名な分福茶釜と之に關する教育資料展覽會は十五日から平町南町丸昌ホールの開催されるが、分福茶釜の緣起左の如くである。
分福茶釜は日本五大お加噺(桃太郎、舌切雀、カチカチ山花袋、猿蟹合戦)等と共に日本の童話中最も有名なものとして數へられ、その事實は「化け狸」と誤傳せられて居るが、分福茶釜は實は茶釜銅分福茶釜と稱し、奇僧守鶴和尚の遺物として今も尚群馬縣館林在初願所茂林寺の寶物として保存せられ、明治天皇の天覽を奉ふし、尚、各宮殿下の台覽を賜る等、多の光榮を有する稀寶である。青龍山茂林寺は關東屈指の禪刹で、今より約五百年以前永永二十三年大森止通禪師が開山、守鶴和尚は當時禪師と共に伊香保より來り代々の住職に隨從中元龜元年の泉千人法會の際當時の住職七世、卅和尙が煎茶の衆僧に行渡らぬのを大いに憂へて居るのを見て守鶴和尚は突如何處よりか一つの茶釜を持ち來り茶室の用に充てたところ、一度汲入れた水は汲めども汲めども盡くする事なく實に無盡藏の不思議を現したものである。

武内判事 歡迎宴會

平區裁判所では十三日上海から歸つた武内判事の歡迎の宴會を開催した。

勇士の歌を教材

飯野村小學校では東京日日新聞募集の肉弾三勇士の歌を教材として生徒に教授してゐる。

飯野校遠足

石城郡飯野小學校生徒全部は十四日午

最新式電氣應用 晝夜撮影 寫真館ラクサ

(前驛) 町田町平

▲八百屋へ泥棒 石城郡内郷村小島四八福田信定(五五)は十三日夜平町材木町八百屋白川理三方に忍び入り靴その他敷点を窃取し逃走せんとする處を警邏中の佐久間警部補に發見捕はれた。

謹告

本月十八日縣社子歛倉神社大祭當日ハ例年ノ通り謹而休業仕候
但日本銀行並ニ縣金庫事務ハ平常ノ通り取扱申候

平町銀行組合

優等賞入選

芳醇銘酒



キユノバクハ

去る十八日より二十日迄平稅務署に於て開催されたる石城酒造組合主催第十三回清酒喇酒會に於て三點とも最優等賞を得たり。

平町二丁目一

白馬の雪營業所

辰の口本家 松本徳一
電話 一五四六 營業所
二八五 本店

小學生用防水マント

入學進級のわ子様方へ
完全なツルヤの
防水マントを
耐久三年以上

二尺 一圓四十錢
二尺二寸 一圓六十錢
二尺四寸 一圓八十錢
中ゴム合セ別誂マント
進入生用

男 二圓三十錢
女 二圓三十錢
ツルヤ 電話一四〇

賣店開設

松ヶ岡公園さきわ前に
花見賣店を開設致しました。

折詰仕出し

松ヶ岡公園
さきわ前 藤市賣店
電話三〇五番

今年のお花見は

初音賣店へ

例年の通り松ヶ岡公園を一目で見わろす
良善寺下に賣店を開きました。

折詰仕出し 大勉強

宴會は百人分まで用意してあります
前日まで御申下さい。

平町松ヶ岡公園
良善寺下

初音賣店

電話二三六番

魚清食堂部 改築御披露

階上新築食堂は皆々様を御待ち
してゐます。何卒御立寄下さい
例年の通り



魚折詰.....二十錢より
壽司折詰.....二十錢より
本年の折箱は特に最新式の文化折箱を使
用致します
▽多数は特に御相談に應じます
平町字二丁目

せ印魚清食堂 折詰部

電話六三三番

▼出前持二名至急入用

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
電話平國五〇七番

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「栗守酒」

朝の一盃は精力の原、晩の一盃は睡眠の助力
栗守酒特約店 大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話四六二)

お惣菜用
さつま揚
吉原揚
平町一丁目
電話一四一番

かまぼこ製造 折詰仕出し

藤寅